

まちづくり計画の策定について

1. 人口計画 (P1～23)

2. 土地利用計画 (P24～28)

1. 人口計画

1-1. 国立市の将来人口の想定

(1) 国立市の将来人口

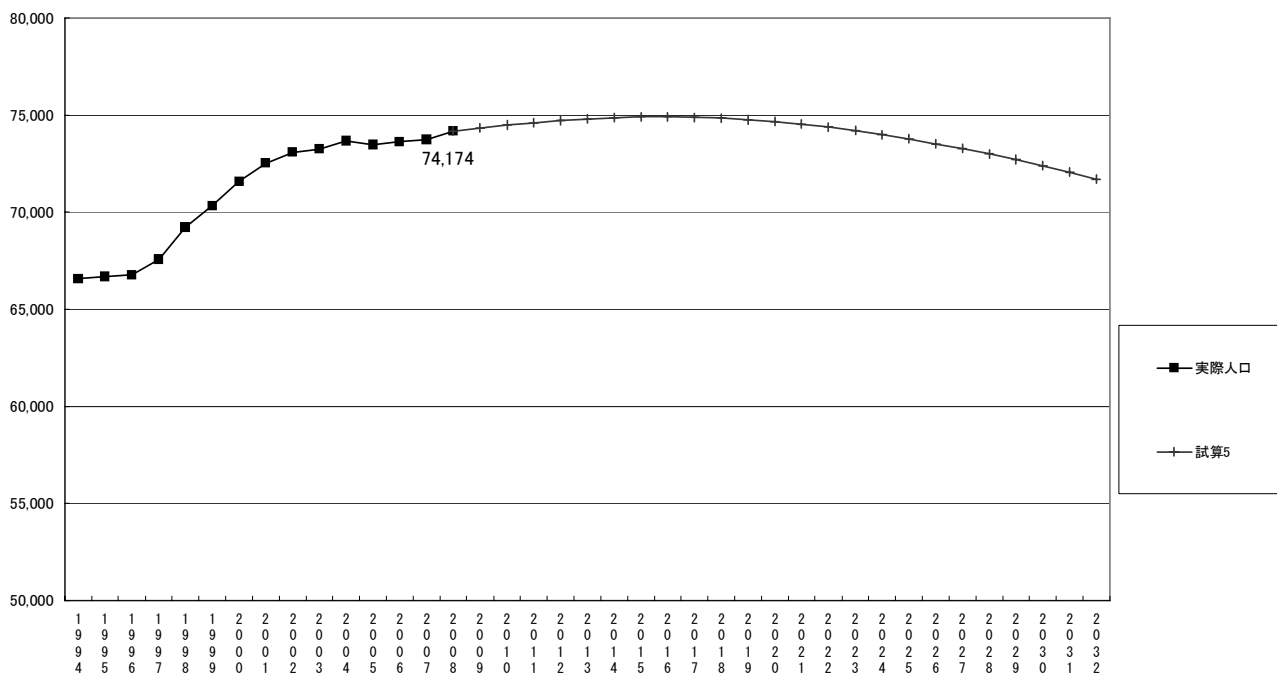
国立市では介護保険事業を展開するにあたり、各試算の検討の結果、2014年の人口を74,910人とする試算5における推計を採用している。

この推計結果による10年ごとの人口は以下のとおりであり、ピークは2016年で74,913人となっている。

この推計の基礎となる人口は住民基本台帳人口に外国人登録者数を加えたものであるが、2005年においては73,479人であり、2005年の国勢調査人口72,667人に対して1.011倍の値となっている

●介護保険事業に関連する人口推計結果

年次	人口(人)
2005年	73,479
2010年	74,499
2020年	74,679
2030年	72,406



(2) コーホート要因法による人口推計

国立市が採用している人口推計は前述のとおりであるが、参考に「コーホート要因法による人口推計」を行った。

1) 推計の概要

人口動態の要因は、出生・死亡の自然動態と、転出・転入の社会動態の2つがある。

コーホート要因法による推計は、自然動態と社会動態を切り離して推計するものであり、特に今後の人口動態の主要因となる人口の年齢構成の変化を反映し得るものであり、人口推計の方法として広く用いられている。

「コーホート」とは「同一時期に出生した集団」のことであり、今回の推計では5年間隔で計算結果を得るため、5歳毎に一つの集団とする。

コーホート要因法による推計は、ある基準年次の男女年齢別人口を出発点とし、これに仮定された「女子の年齢別出生率」、「男女、年齢（各歳または5歳）別生残率」及び「男女、年齢（各歳または5歳）階級別人口移動率」を適用して将来人口を計算する方法である。

大まかな推計の流れは次頁に示すとおりである。

[5年後の5歳以上人口の推計]

例えば、 t 年の5～9歳の男子人口から $t+5$ 年後の10～14歳の男子人口を推計する際は、 t 年の5～9歳の男子人口に男子の自然減と社会増減の係数である「生残率」（5～9歳→10～14歳）と「人口移動率」（5～9歳→10～14歳）を乗ずることにより、 $t+5$ 年の10～14歳男子人口が推計される。

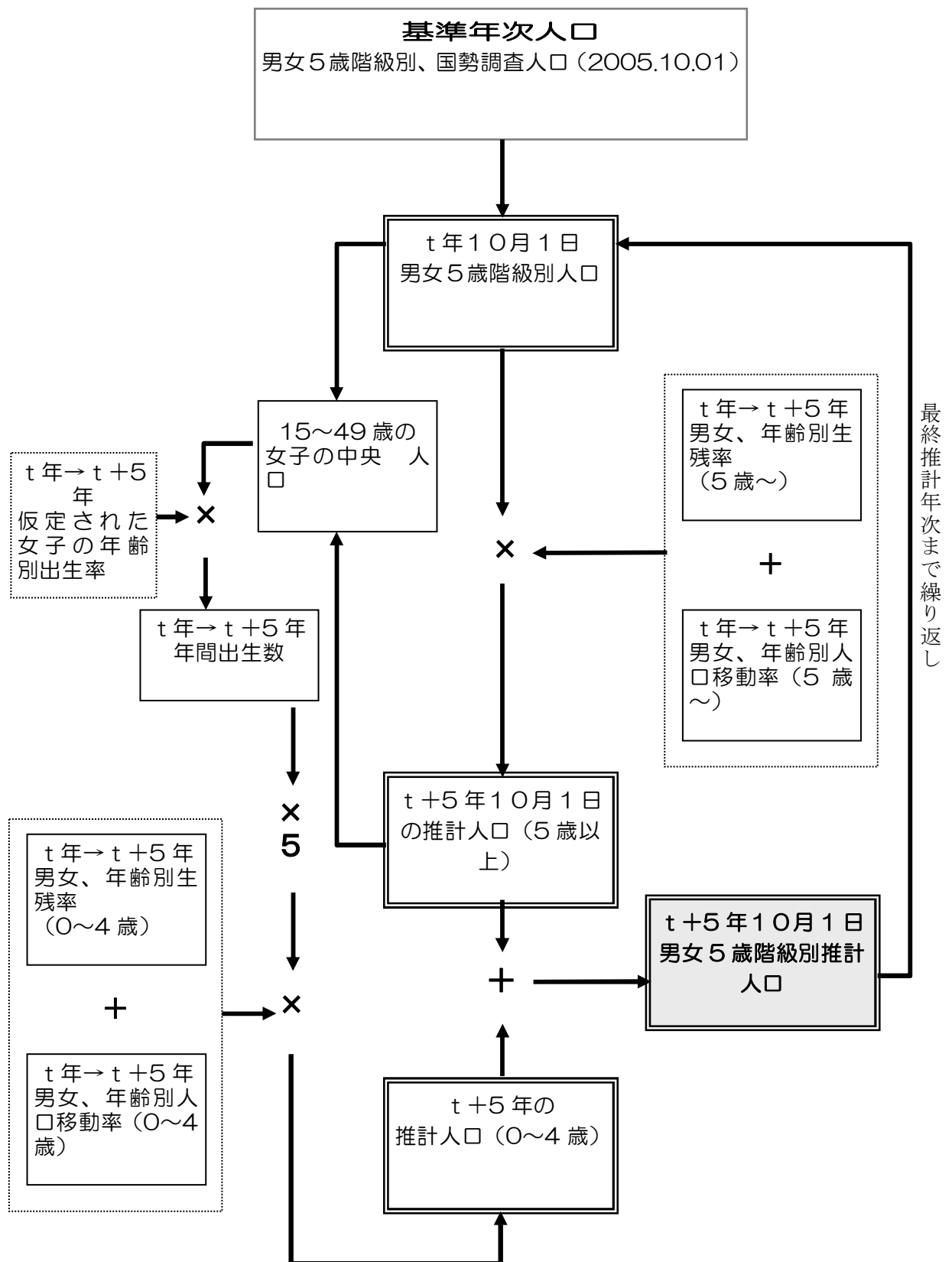
[5年後の0～4歳人口の推計]

一般的に、出生の母集団と考えられる15～49歳女子人口に「女子の年齢別出生率」を乗ずることにより、 t 年から $t+5$ 年間の年間出生数が推計される。

なお、15～49歳女子人口は、 t 年の15～49歳女子人口と、5年後の5歳以上人口の推計で計算した $t+5$ 年の15～49歳女子人口の中央値とする。

これを5年間の出生数を得るために5倍し、仮定された出生性比で男女に分け、5年後の5歳以上人口の推計と同様に自然減と社会増減の係数である「生残率」（出生→0～4歳）と「人口移動率」（出生→0～4歳）を乗ずることにより、 $t+5$ 年の0～4歳人口が計算される。

●すう勢将来人口推計の流れ（概要）



2) 仮定値の解説

前図で、破線で囲まれた項目は「仮定値」と呼ばれるもので、この仮定値の設定いかんによって将来人口の計算結果が変化することになる。

以下に今回の推計に際して設定する仮定値（5年間隔で設定）についてまとめる。

① 男女の年齢（5歳階級）別の生残率（5年間隔）

生残率（期首年次から期末年次までの間に生存している確率）は、一般的に全国生残率や都道府県別生残率が用いられるのが一般的である。

今回の推計では最新の都道府県別生残率である国立社会保障・人口問題研究所編「日本の将来推計人口（平成19年5月推計）」の東京都仮定値を採用する。この生残率は「標準化死因別死亡率補外方式」によって作成された将来生命表から計算されたものである。

●東京都 男子年齢別生残率

年齢	2005→ 2010年	2010→ 2015年	2015→ 2020年	2020→ 2025年	2025→ 2030年	2030→ 2035年
85～→90～	0.39469	0.41460	0.42866	0.44076	0.45115	0.46014
80～84→85～89	0.63579	0.66076	0.67891	0.69424	0.70710	0.71787
75～79→80～84	0.76434	0.78301	0.79557	0.80592	0.81441	0.82142
70～74→75～79	0.85080	0.86197	0.86987	0.87640	0.88182	0.88638
65～69→70～74	0.90550	0.91208	0.91759	0.92218	0.92600	0.92920
60～64→65～69	0.93872	0.94285	0.94592	0.94843	0.95050	0.95225
55～59→60～64	0.95764	0.96062	0.96264	0.96439	0.96594	0.96731
50～54→55～59	0.97295	0.97505	0.97661	0.97795	0.97910	0.98011
45～49→50～54	0.98364	0.98503	0.98598	0.98675	0.98737	0.98789
40～44→45～49	0.99007	0.99081	0.99130	0.99169	0.99200	0.99226
35～39→40～44	0.99391	0.99422	0.99445	0.99463	0.99476	0.99487
30～34→35～39	0.99580	0.99593	0.99605	0.99614	0.99621	0.99626
25～29→30～34	0.99689	0.99697	0.99704	0.99709	0.99713	0.99716
20～24→25～29	0.99755	0.99762	0.99767	0.99770	0.99771	0.99772
15～19→20～24	0.99817	0.99819	0.99825	0.99828	0.99831	0.99832
10～14→15～19	0.99922	0.99922	0.99926	0.99928	0.99930	0.99931
5～9→10～14	0.99953	0.99957	0.99960	0.99963	0.99965	0.99966
0～4→5～9	0.99903	0.99912	0.99920	0.99925	0.99930	0.99934
出生→0～4	0.99666	0.99693	0.99719	0.99740	0.99757	0.99772

●東京都 女子年齢別生残率

年齢	2005→ 2010年	2010→ 2015年	2015→ 2020年	2020→ 2025年	2025→ 2030年	2030→ 2035年
85～→90～	0.47391	0.49103	0.50499	0.51714	0.52784	0.53741
80～84→85～89	0.76427	0.78386	0.79899	0.81167	0.82245	0.83173
75～79→80～84	0.87100	0.88271	0.89178	0.89921	0.90539	0.91060
70～74→75～79	0.92725	0.93399	0.93874	0.94266	0.94594	0.94874
65～69→70～74	0.95774	0.96130	0.96400	0.96624	0.96813	0.96973
60～64→65～69	0.97446	0.97642	0.97786	0.97903	0.98000	0.98080
55～59→60～64	0.98247	0.98367	0.98442	0.98505	0.98557	0.98603
50～54→55～59	0.98734	0.98825	0.98887	0.98940	0.98987	0.99028
45～49→50～54	0.99163	0.99232	0.99277	0.99314	0.99346	0.99374
40～44→45～49	0.99477	0.99519	0.99545	0.99566	0.99584	0.99599
35～39→40～44	0.99661	0.99684	0.99699	0.99711	0.99720	0.99729
30～34→35～39	0.99760	0.99776	0.99786	0.99795	0.99802	0.99808
25～29→30～34	0.99826	0.99836	0.99844	0.99850	0.99856	0.99860
20～24→25～29	0.99859	0.99871	0.99877	0.99881	0.99885	0.99888
15～19→20～24	0.99889	0.99896	0.99899	0.99903	0.99905	0.99907
10～14→15～19	0.99941	0.99942	0.99945	0.99947	0.99949	0.99950
5～9→10～14	0.99962	0.99964	0.99966	0.99968	0.99970	0.99971
0～4→5～9	0.99927	0.99931	0.99936	0.99940	0.99943	0.99946
出生→0～4	0.99730	0.99744	0.99764	0.99780	0.99793	0.99803

② 女子の年齢（5歳階級）別の出生率

前述のとおり、コーホート要因法において今後生まれてくる世代の人口の推移を予測するためには、出生数の計算が必要となる。

出生数の算出の出発点となるのは、推計時点において再生産年齢（15歳～49歳）にある女子人口（5年間隔の推計では、期首人口と期末人口の平均人口を用いる）であり、これに年齢別に設定した出生率を乗じて各年齢階層別の出生数が計算され、全年齢階層の出生数を合計したものが出生数となる。

ここで用いる将来の女子の年齢別出生率は、①と同様「日本の将来推計人口（平成19年5月推計）」の東京都仮定値を採用する。

●東京都 女子年齢別出生率

女子の年齢別(歳)	女子の年齢（5歳階級）別出生率					
	2005→ 2010年	2010→ 2015年	2015→ 2020年	2020→ 2025年	2025→ 2030年	2030→ 2035年
45～49	0.00025	0.00028	0.00029	0.00031	0.00033	0.00034
40～44	0.00717	0.00772	0.00768	0.00797	0.00812	0.00819
35～39	0.03889	0.03855	0.04060	0.04223	0.04280	0.04317
30～34	0.07354	0.07150	0.07084	0.07111	0.07127	0.07151
25～29	0.05542	0.05349	0.05280	0.05246	0.05272	0.05313
20～24	0.01832	0.01763	0.01738	0.01748	0.01767	0.01774
15～19	0.00345	0.00343	0.00346	0.00352	0.00353	0.00350
合計特殊出生率	0.98520	0.96300	0.96525	0.97540	0.98220	0.98790

③ 出生性比

自然の法則で出生時は女性より男性の方が多くなる。（乳幼児の死亡率は男児の方が高いため）

②で計算した出生数を男女に振り分ける際には女児出生数を100とした場合の男児出生数の割合「出生性比」を用いる。

男児出生数は、「日本の将来推計人口（平成19年5月推計）」の東京都の値105.40とした。

④ 男女の年齢（5歳階級）別の社会移動率（5年間隔）

〔定義〕

コーホート要因法（5歳階級別、5年間隔）による人口の推計において、人口移動率は、以下の例に示すとおりである。

●5～9歳→10～14歳の例

t年の5～9歳の人口集団が、t+5年に10～14歳になる間に転入・転出によって生じる純増減数のt年の5～9歳人口に対する割合。

この推計では2000年～2005年間の社会移動率を男女の年齢（5歳階級）別に算出し、以後、この5年間と同様の社会増減傾向が続くものと仮定する。

〔社会移動率の設定手順〕

2000年10月1日の国勢調査人口を期首人口とし、下の3つの値を用いて社会増減要因がなかった場合の5年後の人口（封鎖人口）を推計する。

- ・男女、年齢（5歳階級）別生残率〔第19・20回全国生命表より設定〕
- ・出生数〔2000年1月1日から2004年12月31日までの実績〕
- ・出生性比〔105.40〕

①～③の仮定値を用いて推計された2005年10月1日の封鎖人口（社会移動がなかったと仮定した場合の人口）と、実際の2005年10月1日の国勢調査人口を比較する。

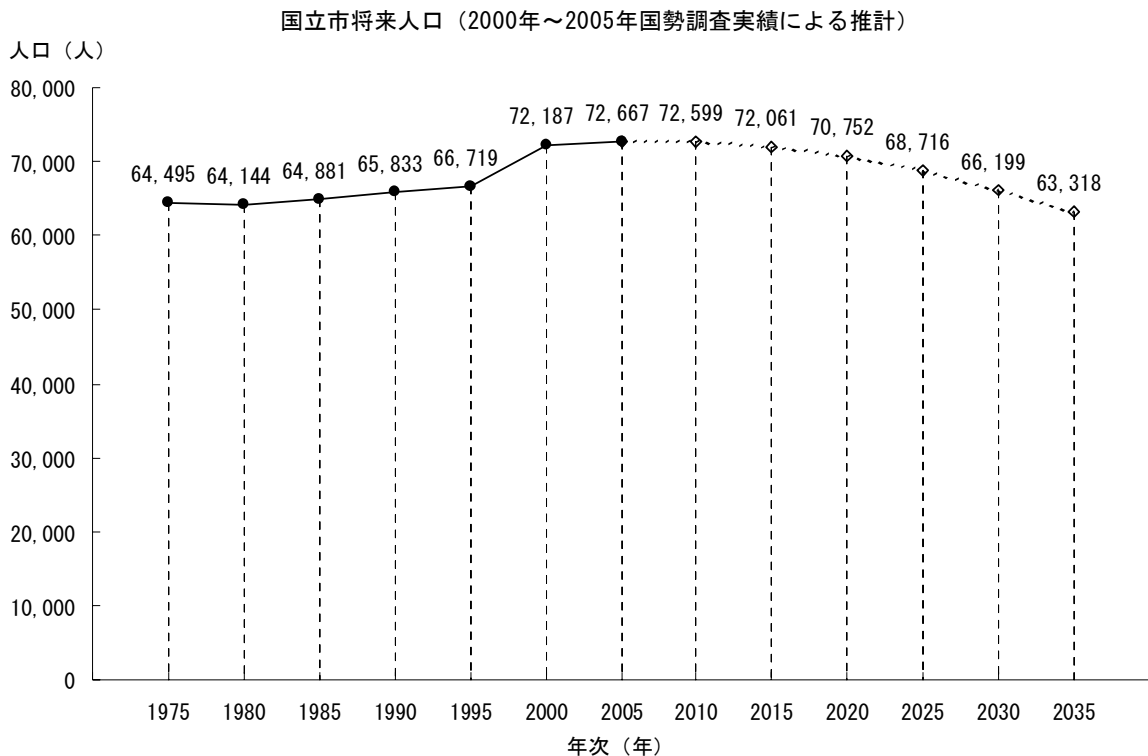
例えば、2000～2005年の間に5～9歳の人口集団が10～14歳の人口集団になる間の純移動者数（転入者数－転出者数）を計算するために、2005年の実際人口の10～14歳人口から2005年の封鎖人口の10～14歳人口を差し引く。この差の2000年の5～9歳人口に対する割合が、2000年から2005年の間の5～9歳→10～14歳人口集団の純移動率ということになる。

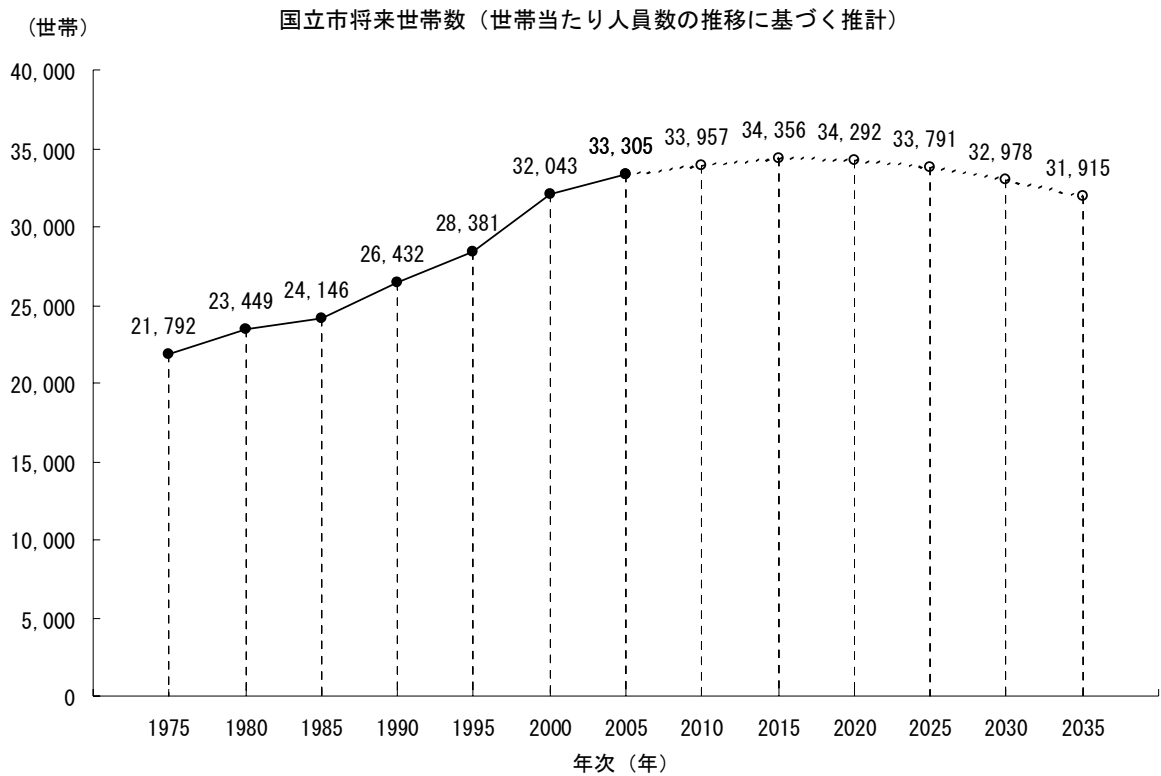
3) 推計結果

① 推計 1

以上の考え方に沿って推計した結果は、次のとおりである。

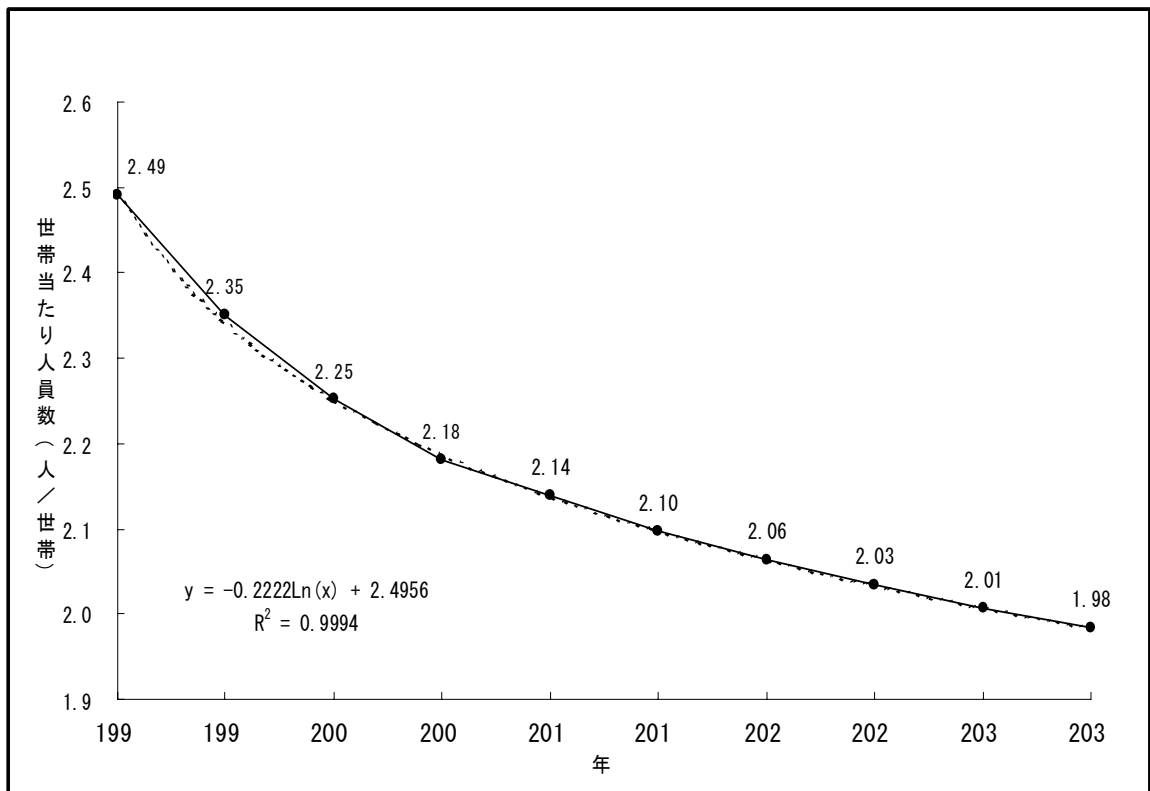
- 人口は2005年をピークとして減少し、概ね20年後の2030年には約6.6万人（概ね1割減）となり、65歳以上の人口の全体に占める割合は2005年の17.5%から2030年には34.3%と2倍の割合を占める。
- 世帯数は、世帯人員の減少により2015年までは増加を続ける（2005年から2015年の増加世帯数は約11百世帯）が、それ以降減少に転じる。





世帯数は人口総数を世帯人員で除し想定した。なお、世帯人員は、1990年から2005年までの国勢調査による世帯人員の推移を回帰させ予測した。

●世帯人員の現況と将来予測



2005年

	国勢調査人口 2005. 10. 1					
	計		男		女	
90以上	467	0.6%	144	0.4%	323	0.9%
85～89	788	1.1%	261	0.7%	527	1.5%
80～84	1,564	2.2%	608	1.7%	956	2.6%
75～79	2,729	3.8%	1,199	3.3%	1,530	4.2%
70～74	3,439	4.7%	1,635	4.5%	1,804	5.0%
65～69	3,707	5.1%	1,704	4.7%	2,003	5.5%
60～64	4,214	5.8%	1,962	5.4%	2,252	6.2%
55～59	5,083	7.0%	2,536	7.0%	2,547	7.0%
50～54	4,507	6.2%	2,303	6.3%	2,204	6.1%
45～49	4,697	6.5%	2,414	6.6%	2,283	6.3%
40～44	5,824	8.0%	2,986	8.2%	2,838	7.8%
35～39	6,094	8.4%	3,110	8.5%	2,984	8.2%
30～34	5,811	8.0%	2,976	8.2%	2,835	7.8%
25～29	4,923	6.8%	2,713	7.5%	2,210	6.1%
20～24	5,716	7.9%	3,127	8.6%	2,589	7.1%
15～19	3,907	5.4%	2,028	5.6%	1,879	5.2%
10～14	3,297	4.5%	1,692	4.6%	1,605	4.4%
5～9	3,154	4.3%	1,614	4.4%	1,540	4.2%
0～4	2,746	3.8%	1,401	3.8%	1,345	3.7%
老年人口 (75以上)	12,694	17.5%	5,551	15.2%	7,143	19.7%
(65～74)	5,548	7.6%	2,212	6.1%	3,336	9.2%
生産年齢人口	7,146	9.8%	3,339	9.2%	3,807	10.5%
年少人口	50,776	69.9%	26,155	71.8%	24,621	67.9%
年少人口	9,197	12.7%	4,707	12.9%	4,490	12.4%
総計	72,667	100.0%	36,413	100.0%	36,254	100.0%

2010年

	すう勢将来人口 2010. 10. 1					
	計		男		女	
90以上	563	0.8%	160	0.4%	403	1.1%
85～89	1,117	1.5%	387	1.1%	731	2.0%
80～84	2,249	3.1%	916	2.5%	1,333	3.7%
75～79	3,267	4.5%	1,501	4.1%	1,766	4.9%
70～74	3,596	5.0%	1,648	4.5%	1,948	5.4%
65～69	4,130	5.7%	1,921	5.3%	2,209	6.1%
60～64	5,009	6.9%	2,510	6.9%	2,498	6.9%
55～59	4,501	6.2%	2,266	6.2%	2,235	6.2%
50～54	4,590	6.3%	2,352	6.5%	2,239	6.2%
45～49	5,804	8.0%	2,923	8.1%	2,881	7.9%
40～44	6,059	8.3%	3,034	8.4%	3,026	8.3%
35～39	5,522	7.6%	2,789	7.7%	2,733	7.5%
30～34	4,354	6.0%	2,297	6.3%	2,057	5.7%
25～29	4,349	6.0%	2,355	6.5%	1,993	5.5%
20～24	5,517	7.6%	3,095	8.5%	2,422	6.7%
15～19	4,044	5.6%	2,087	5.8%	1,957	5.4%
10～14	3,092	4.3%	1,580	4.4%	1,513	4.2%
5～9	2,600	3.6%	1,313	3.6%	1,288	3.5%
0～4	2,235	3.1%	1,140	3.1%	1,095	3.0%
老年人口 (75以上)	14,923	20.6%	6,534	18.0%	8,389	23.1%
(65～74)	7,196	9.9%	2,964	8.2%	4,232	11.7%
生産年齢人口	7,726	10.6%	3,570	9.8%	4,156	11.4%
年少人口	49,748	68.5%	25,708	70.9%	24,040	66.2%
年少人口	7,928	10.9%	4,033	11.1%	3,895	10.7%
総計	72,599	100.0%	36,274	100.0%	36,324	100.0%

2015年

	すう勢将来人口 2015. 10. 1					
	計		男		女	
90以上	783	1.1%	227	0.6%	557	1.5%
85～89	1,650	2.3%	606	1.7%	1,045	2.9%
80～84	2,735	3.8%	1,175	3.3%	1,559	4.3%
75～79	3,452	4.8%	1,532	4.3%	1,920	5.3%
70～74	4,027	5.6%	1,871	5.2%	2,156	6.0%
65～69	4,924	6.8%	2,469	6.9%	2,455	6.8%
60～64	4,445	6.2%	2,250	6.3%	2,195	6.1%
55～59	4,591	6.4%	2,319	6.5%	2,272	6.3%
50～54	5,679	7.9%	2,852	7.9%	2,827	7.8%
45～49	6,045	8.4%	2,972	8.3%	3,073	8.5%
40～44	5,493	7.6%	2,721	7.6%	2,772	7.7%
35～39	4,136	5.7%	2,153	6.0%	1,983	5.5%
30～34	3,850	5.3%	1,994	5.6%	1,856	5.1%
25～29	4,196	5.8%	2,332	6.5%	1,865	5.2%
20～24	5,707	7.9%	3,185	8.9%	2,522	7.0%
15～19	3,793	5.3%	1,948	5.4%	1,845	5.1%
10～14	2,549	3.5%	1,285	3.6%	1,265	3.5%
5～9	2,117	2.9%	1,069	3.0%	1,048	2.9%
0～4	1,890	2.6%	964	2.7%	926	2.6%
老年人口 (75以上)	17,571	24.4%	7,880	21.9%	9,691	26.8%
(65～74)	8,620	12.0%	3,539	9.9%	5,080	14.1%
生産年齢人口	8,951	12.4%	4,340	12.1%	4,611	12.8%
年少人口	47,934	66.5%	24,726	68.8%	23,209	64.2%
年少人口	6,557	9.1%	3,318	9.2%	3,239	9.0%
総計	72,061	100.0%	35,923	100.0%	36,138	100.0%

2020年

	すう勢将来人口 2020. 10. 1					
	計		男		女	
90以上	1,165	1.6%	357	1.0%	809	2.3%
85～89	2,044	2.9%	798	2.3%	1,246	3.5%
80～84	2,931	4.1%	1,219	3.5%	1,712	4.8%
75～79	3,889	5.5%	1,754	5.0%	2,135	6.0%
70～74	4,821	6.8%	2,418	6.9%	2,402	6.8%
65～69	4,380	6.2%	2,220	6.3%	2,160	6.1%
60～64	4,540	6.4%	2,307	6.6%	2,233	6.3%
55～59	5,687	8.0%	2,816	8.0%	2,871	8.1%
50～54	5,919	8.4%	2,902	8.2%	3,016	8.5%
45～49	5,483	7.7%	2,667	7.6%	2,815	7.9%
40～44	4,113	5.8%	2,101	6.0%	2,012	5.7%
35～39	3,659	5.2%	1,869	5.3%	1,789	5.0%
30～34	3,710	5.2%	1,974	5.6%	1,736	4.9%
25～29	4,342	6.1%	2,399	6.8%	1,942	5.5%
20～24	5,351	7.6%	2,974	8.4%	2,377	6.7%
15～19	3,127	4.4%	1,584	4.5%	1,542	4.3%
10～14	2,076	2.9%	1,046	3.0%	1,030	2.9%
5～9	1,790	2.5%	904	2.6%	886	2.5%
0～4	1,727	2.4%	881	2.5%	846	2.4%
老年人口 (75以上)	19,229	27.2%	8,765	24.9%	10,464	29.4%
(65～74)	10,029	14.2%	4,127	11.7%	5,902	16.6%
生産年齢人口	9,200	13.0%	4,638	13.2%	4,562	12.8%
年少人口	45,930	64.9%	23,595	67.0%	22,335	62.8%
年少人口	5,593	7.9%	2,831	8.0%	2,762	7.8%
総計	70,752	100.0%	35,191	100.0%	35,561	100.0%

2025年

	すう勢将来人口 2025. 10. 1					
	計		男		女	
90以上	1,571	2.3%	509	1.5%	1,062	3.1%
85～89	2,236	3.3%	846	2.5%	1,390	4.0%
80～84	3,333	4.9%	1,413	4.1%	1,920	5.5%
75～79	4,671	6.8%	2,282	6.7%	2,389	6.9%
70～74	4,303	6.3%	2,184	6.4%	2,119	6.1%
65～69	4,482	6.5%	2,282	6.7%	2,200	6.4%
60～64	5,630	8.2%	2,807	8.2%	2,823	8.1%
55～59	5,935	8.6%	2,870	8.4%	3,065	8.8%
50～54	5,372	7.8%	2,607	7.7%	2,765	8.0%
45～49	4,104	6.0%	2,060	6.0%	2,044	5.9%
40～44	3,640	5.3%	1,825	5.4%	1,815	5.2%
35～39	3,525	5.1%	1,851	5.4%	1,674	4.8%
30～34	3,840	5.6%	2,032	6.0%	1,809	5.2%
25～29	4,071	5.9%	2,240	6.6%	1,831	5.3%
20～24	4,406	6.4%	2,419	7.1%	1,988	5.7%
15～19	2,546	3.7%	1,290	3.8%	1,256	3.6%
10～14	1,755	2.6%	885	2.6%	871	2.5%
5～9	1,636	2.4%	826	2.4%	810	2.3%
0～4	1,659	2.4%	846	2.5%	812	2.3%
老年人口	20,597	30.0%	9,517	27.9%	11,080	32.0%
(75以上)	11,812	17.2%	5,051	14.8%	6,761	19.5%
(65～74)	8,785	12.8%	4,466	13.1%	4,319	12.5%
生産年齢人口	43,070	62.7%	22,000	64.6%	21,069	60.8%
年少人口	5,050	7.3%	2,557	7.5%	2,493	7.2%
総計	68,716	100.0%	34,074	100.0%	34,642	100.0%

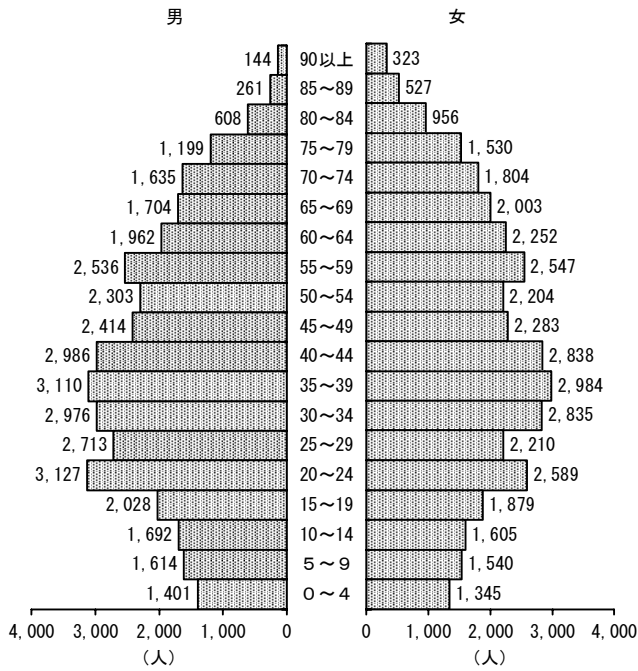
2030年

	すう勢将来人口 2030. 10. 1					
	計		男		女	
90以上	1,906	2.9%	611	1.9%	1,294	3.9%
85～89	2,579	3.9%	999	3.1%	1,579	4.7%
80～84	4,022	6.1%	1,859	5.7%	2,163	6.5%
75～79	4,187	6.3%	2,073	6.3%	2,114	6.3%
70～74	4,416	6.7%	2,254	6.9%	2,162	6.5%
65～69	5,567	8.4%	2,782	8.5%	2,785	8.3%
60～64	5,881	8.9%	2,865	8.8%	3,015	9.0%
55～59	5,392	8.1%	2,581	7.9%	2,811	8.4%
50～54	4,023	6.1%	2,015	6.2%	2,008	6.0%
45～49	3,634	5.5%	1,790	5.5%	1,845	5.5%
40～44	3,506	5.3%	1,807	5.5%	1,699	5.1%
35～39	3,649	5.5%	1,905	5.8%	1,744	5.2%
30～34	3,602	5.4%	1,897	5.8%	1,705	5.1%
25～29	3,353	5.1%	1,822	5.6%	1,531	4.6%
20～24	3,587	5.4%	1,969	6.0%	1,618	4.8%
15～19	2,153	3.3%	1,091	3.3%	1,062	3.2%
10～14	1,604	2.4%	808	2.5%	796	2.4%
5～9	1,571	2.4%	793	2.4%	778	2.3%
0～4	1,569	2.4%	801	2.4%	768	2.3%
老年人口	22,676	34.3%	10,579	32.3%	12,097	36.1%
(75以上)	12,693	19.2%	5,542	16.9%	7,151	21.4%
(65～74)	9,983	15.1%	5,036	15.4%	4,947	14.8%
生産年齢人口	38,780	58.6%	19,742	60.3%	19,038	56.9%
年少人口	4,744	7.2%	2,402	7.3%	2,342	7.0%
総計	66,199	100.0%	32,722	100.0%	33,477	100.0%

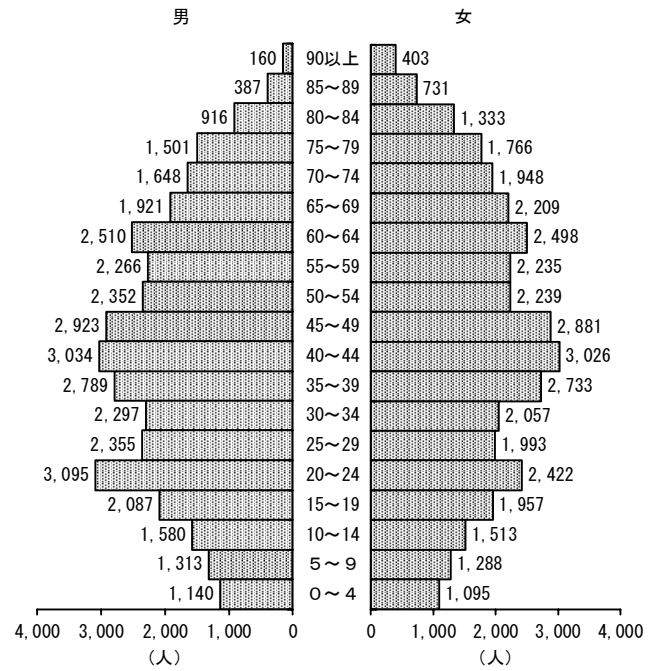
2035年

	すう勢将来人口 2035. 10. 1					
	計		男		女	
90以上	2,285	3.6%	741	2.4%	1,544	4.8%
85～89	3,133	4.9%	1,334	4.3%	1,799	5.6%
80～84	3,628	5.7%	1,703	5.5%	1,925	6.0%
75～79	4,313	6.8%	2,150	6.9%	2,163	6.7%
70～74	5,498	8.7%	2,757	8.8%	2,741	8.5%
65～69	5,821	9.2%	2,845	9.1%	2,977	9.3%
60～64	5,347	8.4%	2,580	8.3%	2,767	8.6%
55～59	4,039	6.4%	1,997	6.4%	2,042	6.4%
50～54	3,564	5.6%	1,751	5.6%	1,813	5.6%
45～49	3,499	5.5%	1,773	5.7%	1,726	5.4%
40～44	3,630	5.7%	1,860	6.0%	1,770	5.5%
35～39	3,423	5.4%	1,779	5.7%	1,644	5.1%
30～34	2,969	4.7%	1,543	4.9%	1,426	4.4%
25～29	2,730	4.3%	1,483	4.8%	1,247	3.9%
20～24	3,034	4.8%	1,665	5.3%	1,369	4.3%
15～19	1,967	3.1%	997	3.2%	970	3.0%
10～14	1,541	2.4%	776	2.5%	764	2.4%
5～9	1,486	2.3%	750	2.4%	736	2.3%
0～4	1,411	2.2%	720	2.3%	691	2.2%
老年人口	24,679	39.0%	11,530	36.9%	13,149	40.9%
(75以上)	13,360	21.1%	5,928	19.0%	7,432	23.1%
(65～74)	11,319	17.9%	5,602	18.0%	5,718	17.8%
生産年齢人口	34,201	54.0%	17,428	55.9%	16,773	52.2%
年少人口	4,437	7.0%	2,247	7.2%	2,191	6.8%
総計	63,318	100.0%	31,205	100.0%	32,113	100.0%

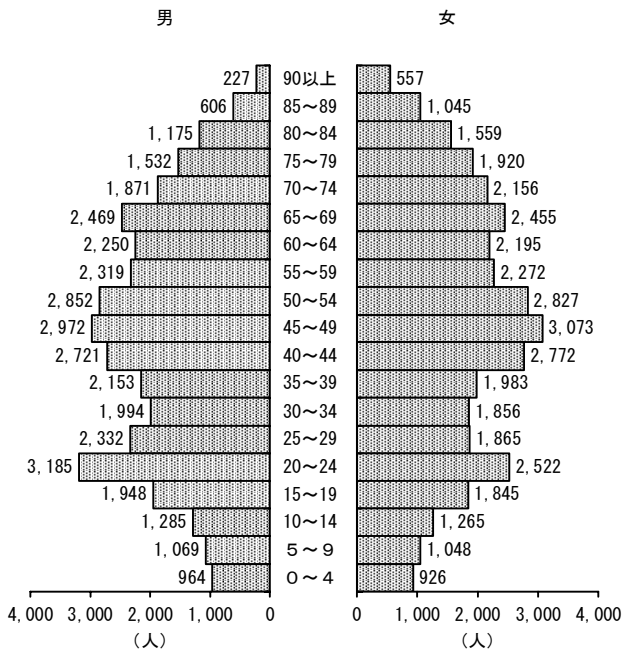
2005年



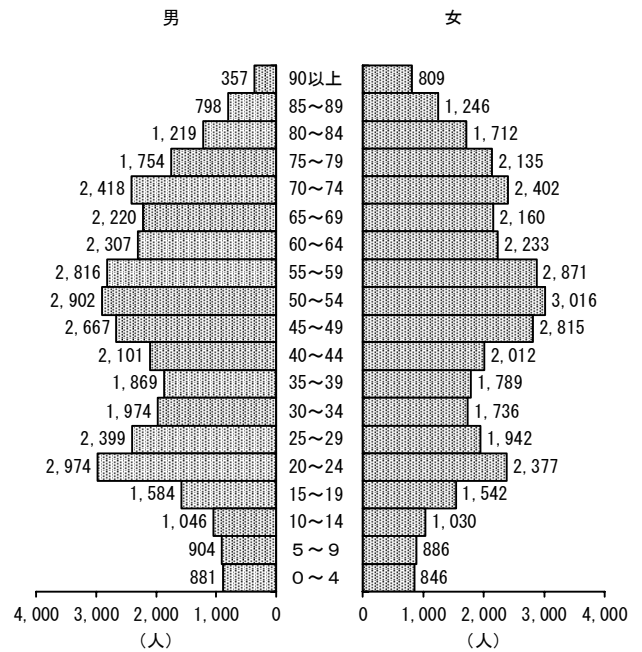
2010年



2015年

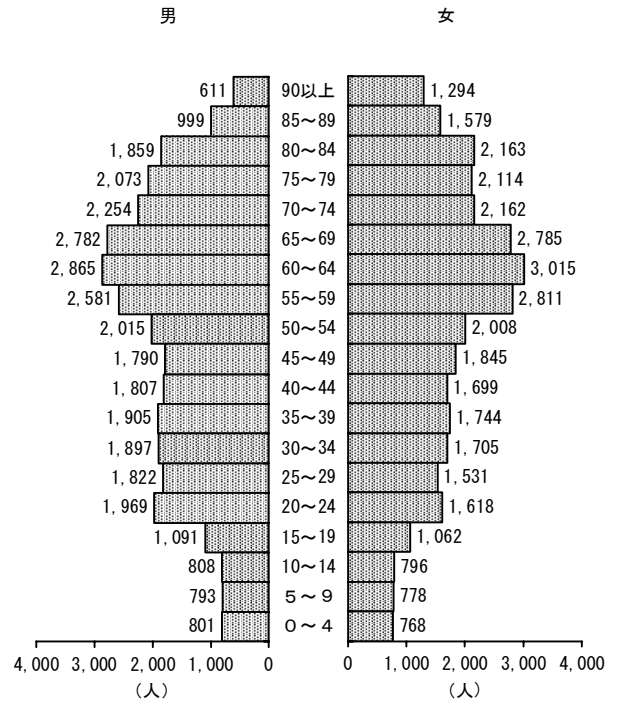
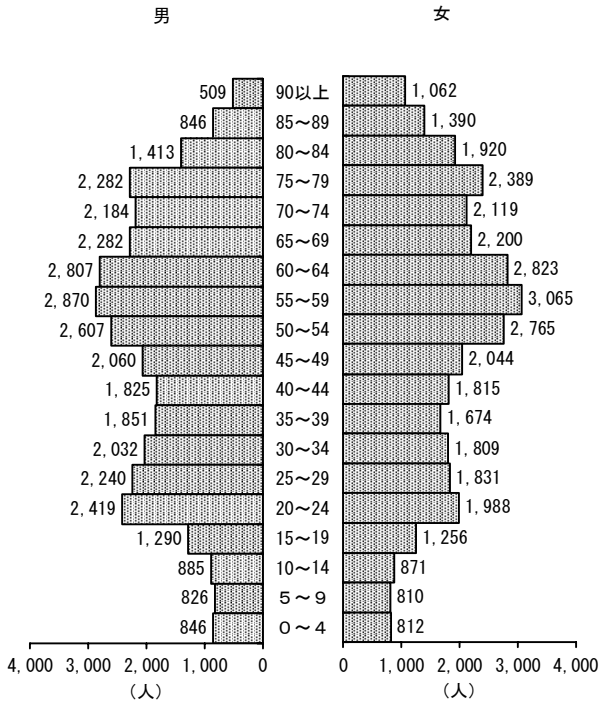


2020年

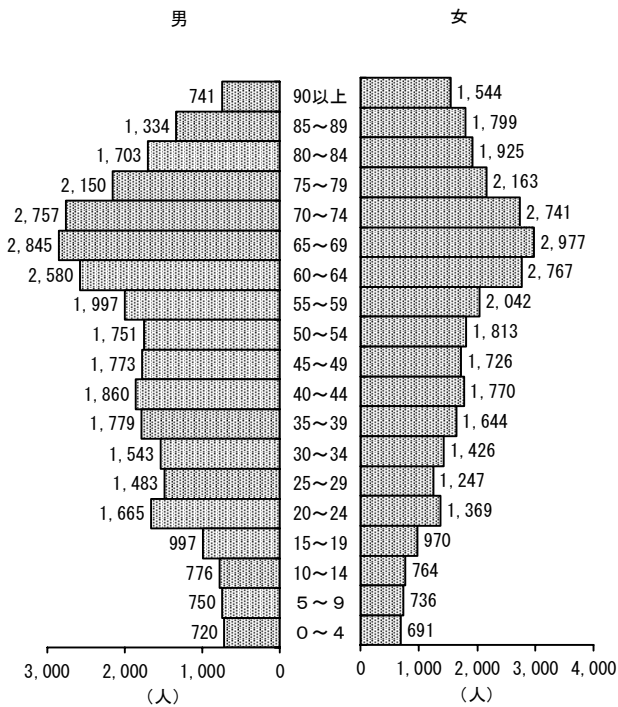


2025年

2030年



2035年



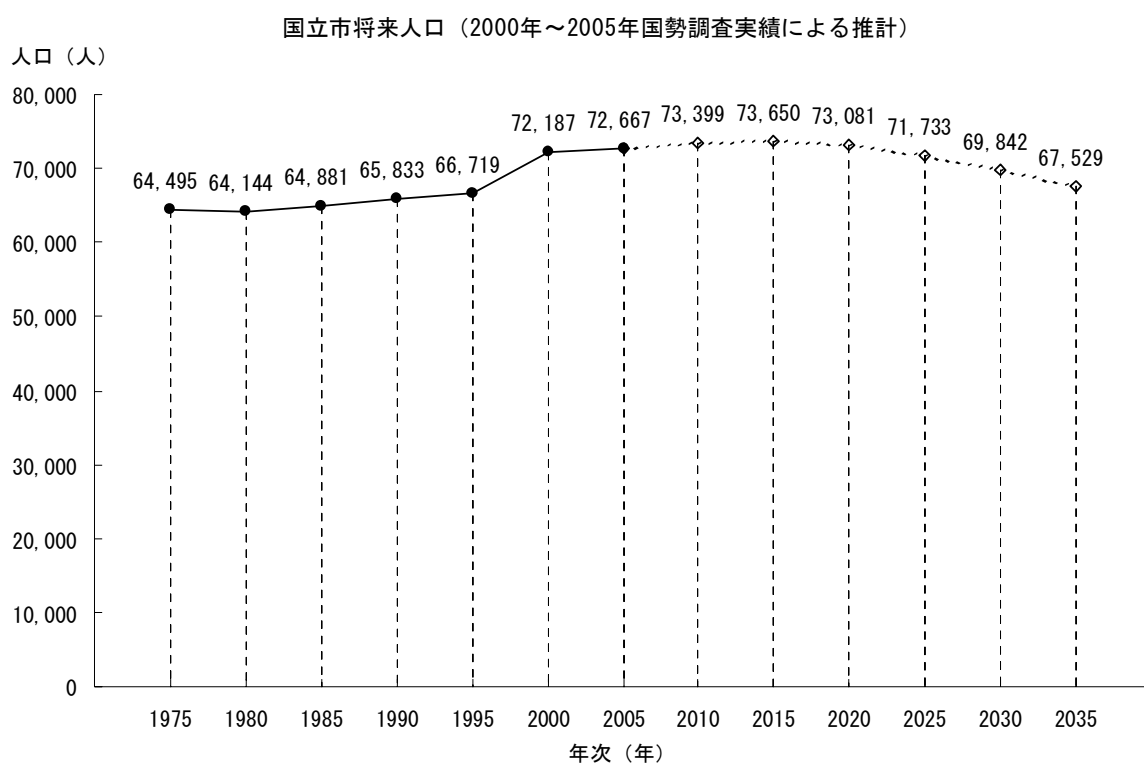
② 推計 2

①の推計では2005年以降減少に転じる結果になっているが、住民基本台帳ベースの人口は、2005年で72,101人、2009年で72,742人と増加している。2005年以降社会動態がプラス側に変化したためであると考えられる。

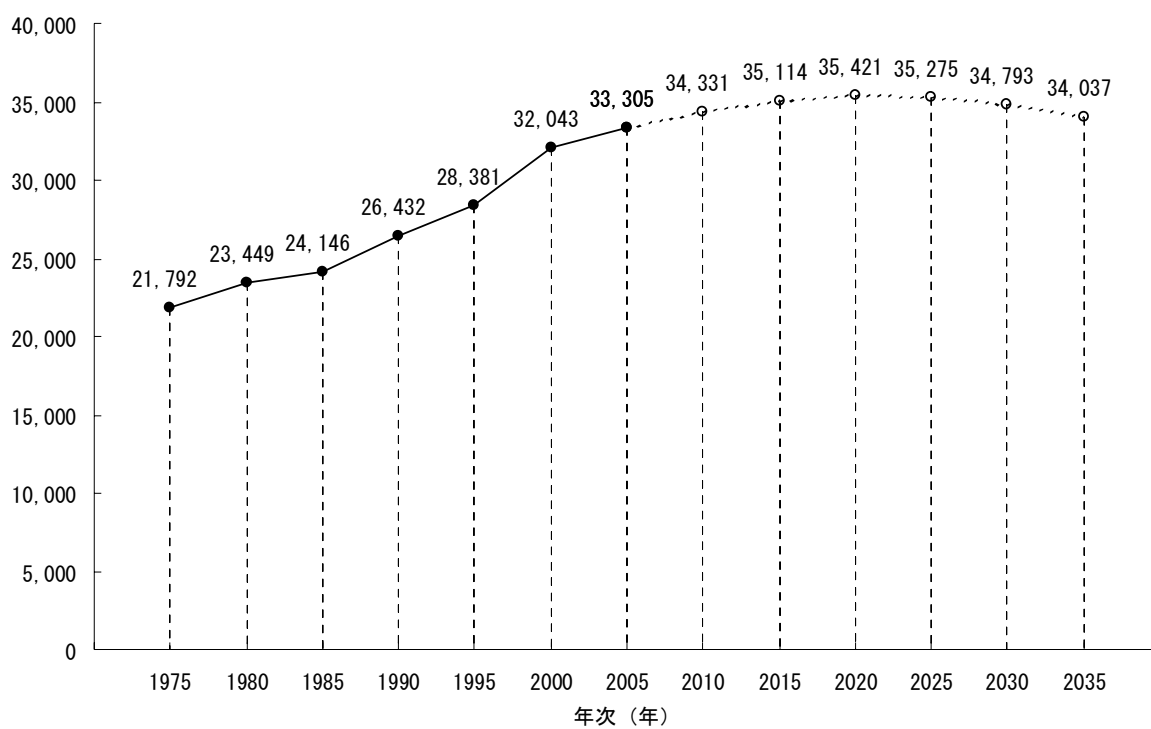
そこで、住民基本台帳ベースの人口増加（4年間で641人、年間160人）傾向を反映するよう（2005年から2010年までに800人増加）移動率を改善（14.7%）させて推計を行った。

以上の考え方に沿って推計した結果は、次のとおりである。

- 人口は2015年がピークの約737百人となり、概ね20年後の2030年には約7.0万人となり、65歳以上の人口の全体に占める割合は2005年の17.5%から2030年には33.0%と1.9倍の割合を占める。
- 世帯数は、世帯人員の減少により2020年までは増加を続ける（2005年から2020年の増加世帯数は約21百世帯、2010年からは約11百世帯）が、それ以降減少に転じる。



(世帯) 国立市将来世帯数 (世帯当たり人員数の推移に基づく推計)



2005年

	国勢調査人口 2005. 10. 1					
	計		男		女	
90以上	467	0.6%	144	0.4%	323	0.9%
85～89	788	1.1%	261	0.7%	527	1.5%
80～84	1,564	2.2%	608	1.7%	956	2.6%
75～79	2,729	3.8%	1,199	3.3%	1,530	4.2%
70～74	3,439	4.7%	1,635	4.5%	1,804	5.0%
65～69	3,707	5.1%	1,704	4.7%	2,003	5.5%
60～64	4,214	5.8%	1,962	5.4%	2,252	6.2%
55～59	5,083	7.0%	2,536	7.0%	2,547	7.0%
50～54	4,507	6.2%	2,303	6.3%	2,204	6.1%
45～49	4,697	6.5%	2,414	6.6%	2,283	6.3%
40～44	5,824	8.0%	2,986	8.2%	2,838	7.8%
35～39	6,094	8.4%	3,110	8.5%	2,984	8.2%
30～34	5,811	8.0%	2,976	8.2%	2,835	7.8%
25～29	4,923	6.8%	2,713	7.5%	2,210	6.1%
20～24	5,716	7.9%	3,127	8.6%	2,589	7.1%
15～19	3,907	5.4%	2,028	5.6%	1,879	5.2%
10～14	3,297	4.5%	1,692	4.6%	1,605	4.4%
5～9	3,154	4.3%	1,614	4.4%	1,540	4.2%
0～4	2,746	3.8%	1,401	3.8%	1,345	3.7%
老年人口	12,694	17.5%	5,551	15.2%	7,143	19.7%
(75以上)	5,548	7.6%	2,212	6.1%	3,336	9.2%
(65～74)	7,146	9.8%	3,339	9.2%	3,807	10.5%
生産年齢人口	50,776	69.9%	26,155	71.8%	24,621	67.9%
年少人口	9,197	12.7%	4,707	12.9%	4,490	12.4%
総計	72,667	100.0%	36,413	100.0%	36,254	100.0%

2010年

	すう勢将来人口 2010. 10. 1					
	計		男		女	
90以上	563	0.8%	160	0.4%	403	1.1%
85～89	1,117	1.5%	387	1.1%	731	2.0%
80～84	2,249	3.1%	916	2.5%	1,333	3.6%
75～79	3,295	4.5%	1,516	4.1%	1,779	4.9%
70～74	3,614	4.9%	1,663	4.5%	1,952	5.3%
65～69	4,143	5.6%	1,932	5.3%	2,211	6.0%
60～64	5,020	6.8%	2,522	6.9%	2,499	6.8%
55～59	4,512	6.1%	2,269	6.2%	2,243	6.1%
50～54	4,597	6.3%	2,355	6.4%	2,242	6.1%
45～49	5,816	7.9%	2,927	8.0%	2,889	7.9%
40～44	6,074	8.3%	3,042	8.3%	3,033	8.3%
35～39	5,558	7.6%	2,813	7.7%	2,746	7.5%
30～34	4,429	6.0%	2,352	6.4%	2,077	5.7%
25～29	4,532	6.2%	2,459	6.7%	2,074	5.7%
20～24	5,736	7.8%	3,240	8.8%	2,495	6.8%
15～19	4,145	5.6%	2,140	5.8%	2,005	5.5%
10～14	3,101	4.2%	1,584	4.3%	1,516	4.1%
5～9	2,620	3.6%	1,324	3.6%	1,295	3.5%
0～4	2,277	3.1%	1,162	3.2%	1,114	3.0%
老年人口	14,981	20.4%	6,574	17.9%	8,407	22.9%
(75以上)	7,224	9.8%	2,979	8.1%	4,245	11.6%
(65～74)	7,757	10.6%	3,595	9.8%	4,162	11.4%
生産年齢人口	50,421	68.7%	26,119	71.0%	24,302	66.3%
年少人口	7,997	10.9%	4,071	11.1%	3,926	10.7%
総計	73,399	100.0%	36,764	100.0%	36,635	100.0%

2015年

	すう勢将来人口 2015. 10. 1					
	計		男		女	
90以上	783	1.1%	227	0.6%	557	1.5%
85～89	1,650	2.2%	606	1.6%	1,045	2.8%
80～84	2,757	3.7%	1,187	3.2%	1,570	4.3%
75～79	3,498	4.7%	1,560	4.2%	1,938	5.3%
70～74	4,060	5.5%	1,898	5.1%	2,162	5.9%
65～69	4,952	6.7%	2,494	6.8%	2,458	6.7%
60～64	4,466	6.1%	2,263	6.1%	2,203	6.0%
55～59	4,609	6.3%	2,325	6.3%	2,284	6.2%
50～54	5,699	7.7%	2,860	7.8%	2,839	7.7%
45～49	6,072	8.2%	2,984	8.1%	3,088	8.4%
40～44	5,543	7.5%	2,752	7.5%	2,791	7.6%
35～39	4,236	5.8%	2,223	6.0%	2,012	5.5%
30～34	4,081	5.5%	2,132	5.8%	1,949	5.3%
25～29	4,547	6.2%	2,548	6.9%	1,999	5.4%
20～24	6,083	8.3%	3,420	9.3%	2,663	7.2%
15～19	3,898	5.3%	2,004	5.4%	1,894	5.2%
10～14	2,575	3.5%	1,300	3.5%	1,275	3.5%
5～9	2,172	2.9%	1,099	3.0%	1,073	2.9%
0～4	1,969	2.7%	1,006	2.7%	964	2.6%
老年人口	17,700	24.0%	7,971	21.6%	9,729	26.5%
(75以上)	8,689	11.8%	3,579	9.7%	5,109	13.9%
(65～74)	9,011	12.2%	4,392	11.9%	4,620	12.6%
生産年齢人口	49,234	66.8%	25,512	69.2%	23,722	64.5%
年少人口	6,717	9.1%	3,404	9.2%	3,312	9.0%
総計	73,650	100.0%	36,887	100.0%	36,763	100.0%

2020年

	すう勢将来人口 2020. 10. 1					
	計		男		女	
90以上	1,165	1.6%	357	1.0%	809	2.2%
85～89	2,061	2.8%	806	2.2%	1,255	3.4%
80～84	2,969	4.1%	1,241	3.4%	1,728	4.7%
75～79	3,953	5.4%	1,796	4.9%	2,157	5.9%
70～74	4,873	6.7%	2,463	6.7%	2,410	6.6%
65～69	4,415	6.0%	2,245	6.1%	2,170	5.9%
60～64	4,568	6.3%	2,324	6.4%	2,245	6.2%
55～59	5,722	7.8%	2,829	7.7%	2,893	7.9%
50～54	5,954	8.1%	2,918	8.0%	3,036	8.3%
45～49	5,544	7.6%	2,701	7.4%	2,843	7.8%
40～44	4,221	5.8%	2,175	5.9%	2,046	5.6%
35～39	3,904	5.3%	2,015	5.5%	1,889	5.2%
30～34	4,089	5.6%	2,210	6.0%	1,879	5.2%
25～29	4,823	6.6%	2,690	7.4%	2,133	5.8%
20～24	5,718	7.8%	3,202	8.8%	2,516	6.9%
15～19	3,238	4.4%	1,645	4.5%	1,593	4.4%
10～14	2,135	2.9%	1,079	2.9%	1,057	2.9%
5～9	1,879	2.6%	951	2.6%	928	2.5%
0～4	1,849	2.5%	944	2.6%	905	2.5%
老年人口	19,437	26.6%	8,909	24.3%	10,528	28.9%
(75以上)	10,148	13.9%	4,200	11.5%	5,948	16.3%
(65～74)	9,289	12.7%	4,709	12.9%	4,580	12.6%
生産年齢人口	47,781	65.4%	24,708	67.5%	23,073	63.2%
年少人口	5,863	8.0%	2,974	8.1%	2,890	7.9%
総計	73,081	100.0%	36,591	100.0%	36,491	100.0%

2025年

	すう勢将来人口 2025. 10. 1					
	計		男		女	
90以上	1,579	2.2%	512	1.4%	1,067	3.0%
85～89	2,264	3.2%	862	2.4%	1,402	3.9%
80～84	3,387	4.7%	1,448	4.0%	1,939	5.4%
75～79	4,761	6.6%	2,347	6.5%	2,414	6.7%
70～74	4,361	6.1%	2,228	6.2%	2,133	5.9%
65～69	4,525	6.3%	2,311	6.4%	2,214	6.2%
60～64	5,677	7.9%	2,831	7.9%	2,846	7.9%
55～59	5,986	8.3%	2,890	8.1%	3,096	8.6%
50～54	5,440	7.6%	2,643	7.4%	2,796	7.8%
45～49	4,221	5.9%	2,136	6.0%	2,084	5.8%
40～44	3,893	5.4%	1,973	5.5%	1,920	5.4%
35～39	3,910	5.5%	2,089	5.8%	1,821	5.1%
30～34	4,338	6.0%	2,332	6.5%	2,006	5.6%
25～29	4,534	6.3%	2,519	7.0%	2,015	5.6%
20～24	4,744	6.6%	2,628	7.3%	2,116	5.9%
15～19	2,684	3.7%	1,365	3.8%	1,320	3.7%
10～14	1,847	2.6%	933	2.6%	914	2.5%
5～9	1,764	2.5%	893	2.5%	872	2.4%
0～4	1,817	2.5%	928	2.6%	889	2.5%
老年人口	20,877	29.1%	9,708	27.1%	11,169	31.1%
(75以上)	11,991	16.7%	5,169	14.4%	6,822	19.0%
(65～74)	8,886	12.4%	4,539	12.7%	4,347	12.1%
生産年齢人口	45,427	63.3%	23,406	65.3%	22,020	61.4%
年少人口	5,429	7.6%	2,754	7.7%	2,675	7.5%
総計	71,733	100.0%	35,869	100.0%	35,864	100.0%

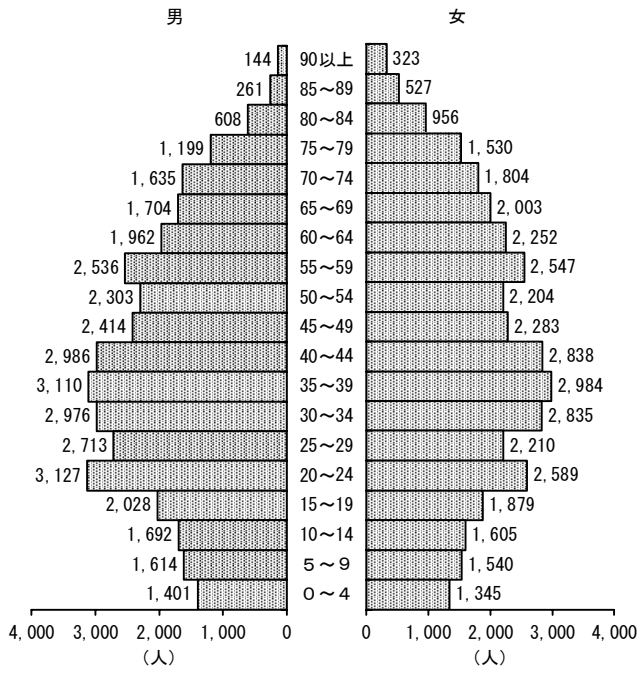
2030年

	すう勢将来人口 2030. 10. 1					
	計		男		女	
90以上	1,923	2.8%	620	1.8%	1,303	3.7%
85～89	2,619	3.7%	1,024	2.9%	1,595	4.6%
80～84	4,097	5.9%	1,912	5.5%	2,185	6.2%
75～79	4,278	6.1%	2,135	6.1%	2,143	6.1%
70～74	4,482	6.4%	2,302	6.6%	2,180	6.2%
65～69	5,631	8.1%	2,822	8.1%	2,809	8.0%
60～64	5,944	8.5%	2,898	8.3%	3,047	8.7%
55～59	5,474	7.8%	2,621	7.5%	2,853	8.2%
50～54	4,143	5.9%	2,092	6.0%	2,051	5.9%
45～49	3,894	5.6%	1,938	5.6%	1,957	5.6%
40～44	3,896	5.6%	2,045	5.9%	1,852	5.3%
35～39	4,149	5.9%	2,205	6.3%	1,943	5.6%
30～34	4,079	5.8%	2,184	6.3%	1,895	5.4%
25～29	3,762	5.4%	2,067	5.9%	1,695	4.8%
20～24	3,934	5.6%	2,181	6.3%	1,753	5.0%
15～19	2,322	3.3%	1,181	3.4%	1,142	3.3%
10～14	1,735	2.5%	876	2.5%	858	2.5%
5～9	1,734	2.5%	877	2.5%	857	2.4%
0～4	1,744	2.5%	891	2.6%	854	2.4%
老年人口	23,031	33.0%	10,815	31.0%	12,216	34.9%
(75以上)	12,917	18.5%	5,690	16.3%	7,227	20.7%
(65～74)	10,114	14.5%	5,124	14.7%	4,989	14.3%
生産年齢人口	41,597	59.6%	21,410	61.4%	20,187	57.7%
年少人口	5,213	7.5%	2,645	7.6%	2,568	7.3%
総計	69,842	100.0%	34,870	100.0%	34,972	100.0%

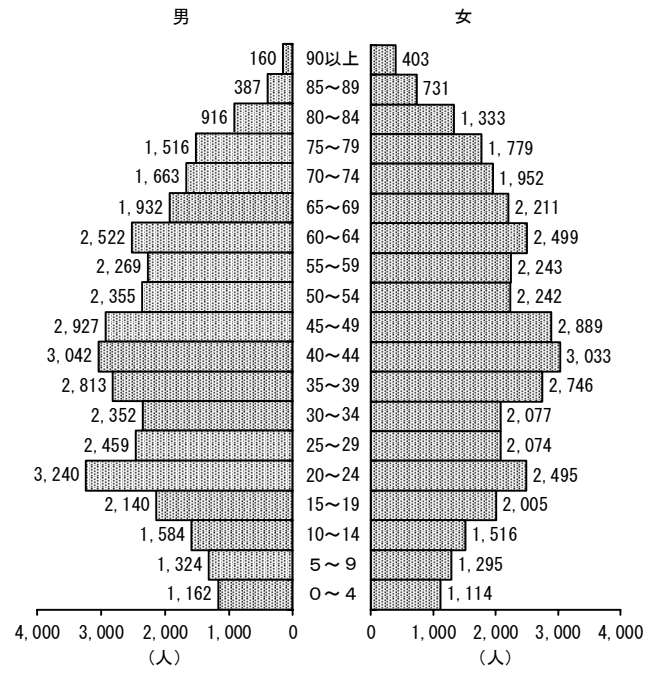
2035年

	すう勢将来人口 2035. 10. 1					
	計		男		女	
90以上	2,314	3.4%	756	2.2%	1,558	4.6%
85～89	3,190	4.7%	1,372	4.1%	1,818	5.4%
80～84	3,705	5.5%	1,754	5.2%	1,951	5.8%
75～79	4,413	6.5%	2,217	6.6%	2,197	6.5%
70～74	5,591	8.3%	2,820	8.4%	2,771	8.2%
65～69	5,903	8.7%	2,893	8.6%	3,010	8.9%
60～64	5,440	8.1%	2,631	7.8%	2,809	8.3%
55～59	4,169	6.2%	2,076	6.2%	2,093	6.2%
50～54	3,824	5.7%	1,898	5.6%	1,926	5.7%
45～49	3,896	5.8%	2,009	6.0%	1,887	5.6%
40～44	4,135	6.1%	2,159	6.4%	1,976	5.8%
35～39	3,902	5.8%	2,065	6.1%	1,836	5.4%
30～34	3,387	5.0%	1,792	5.3%	1,594	4.7%
25～29	3,120	4.6%	1,715	5.1%	1,405	4.1%
20～24	3,403	5.0%	1,887	5.6%	1,517	4.5%
15～19	2,181	3.2%	1,109	3.3%	1,072	3.2%
10～14	1,705	2.5%	861	2.6%	843	2.5%
5～9	1,665	2.5%	842	2.5%	822	2.4%
0～4	1,585	2.3%	810	2.4%	776	2.3%
老年人口	25,117	37.2%	11,813	35.1%	13,304	39.3%
(75以上)	13,623	20.2%	6,099	18.1%	7,523	22.2%
(65～74)	11,495	17.0%	5,713	17.0%	5,781	17.1%
生産年齢人口	37,457	55.5%	19,342	57.4%	18,114	53.5%
年少人口	4,955	7.3%	2,513	7.5%	2,441	7.2%
総計	67,529	100.0%	33,668	100.0%	33,860	100.0%

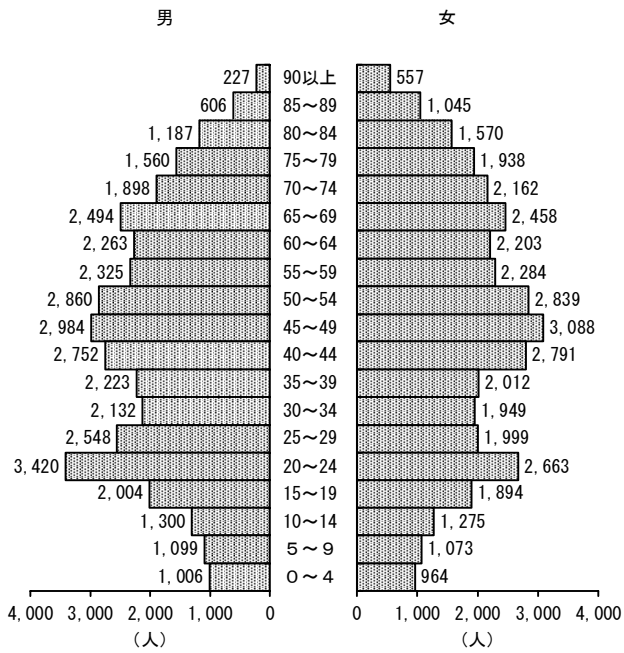
2005年



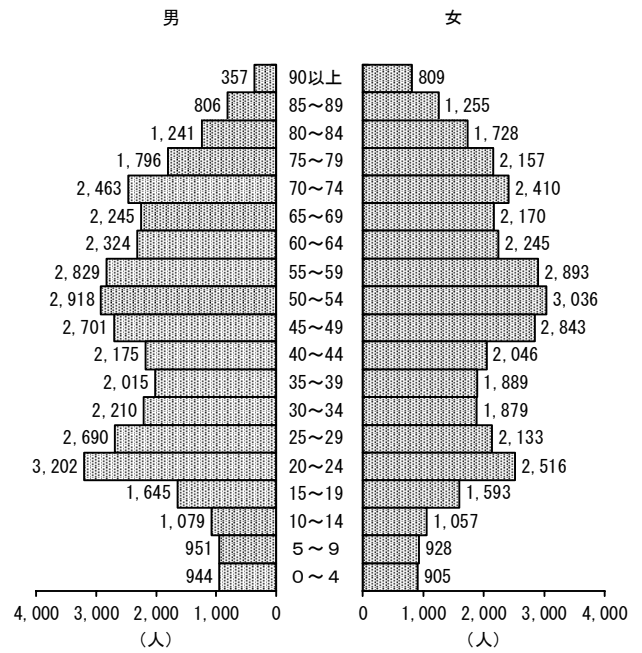
2010年



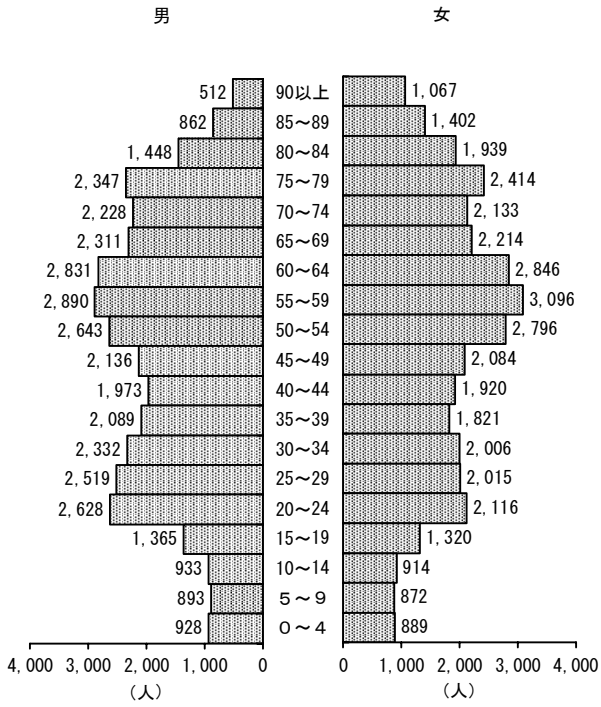
2015年



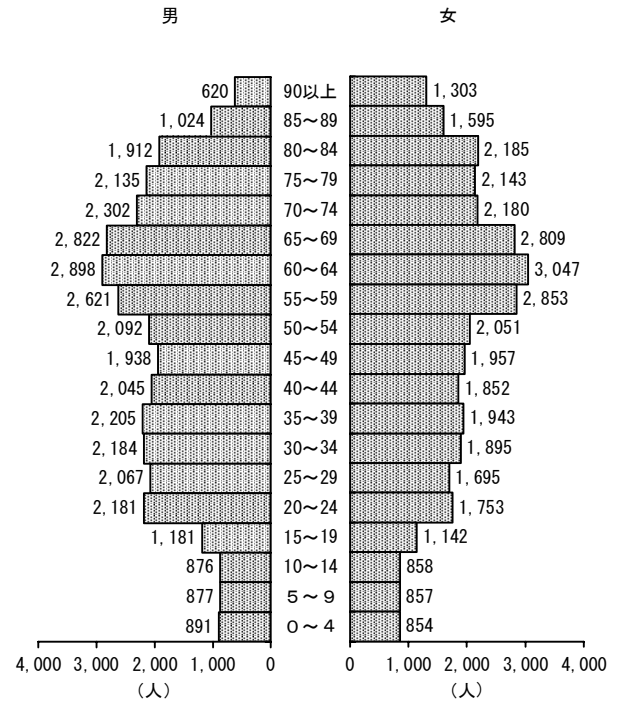
2020年



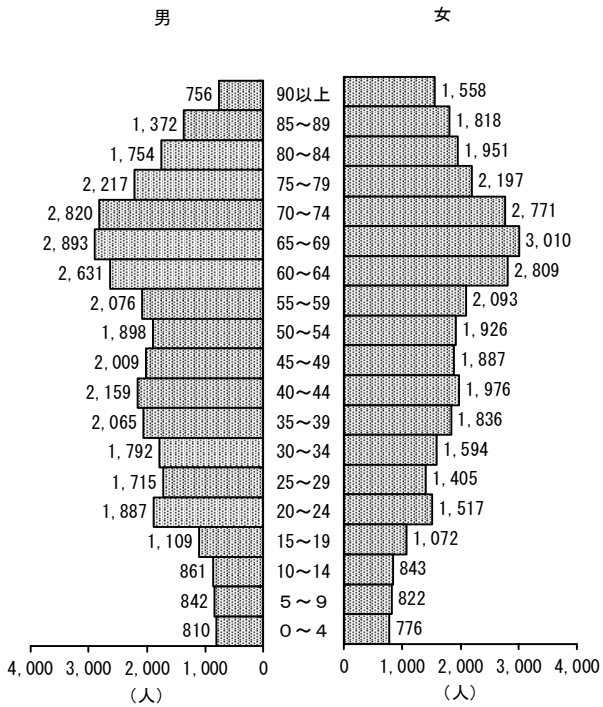
2025年



2030年



2035年



(3) 国立市の将来人口の設定

(1) の推計結果は、国立市における介護保険事業の施策展開の基礎となる人口として採用されている数値であり、参考に(2)で推計した推計2の結果と比較すると、ほぼ同様の傾向となっている。

以上から、まちづくり計画を策定する上での国立市の将来人口は、国立市における介護保険事業の施策展開の基礎としている将来人口を採用することとする。

●国立市の将来人口

年次	人口(人)
2005年	73,479
2010年	74,500
2020年	74,700
2030年	72,400

1-2. 南部地域の将来人口の想定

(1) 南部地域の人口・世帯の推移

① 住民基本台帳人口

住民基本台帳（各年1月1日現在）により、人口及び世帯数を整理した。

なお、町丁目での整理により南武線を境に南側を南部地域としたため、南部地域には富士見台一、四丁目は含まれていない。

南部地域外は平成14年から平成21年までに約8百人減少しているのに対して、南部地域は約18百人増加している。

青柳以外は増加しているが、増加数が多いのは、谷保（泉三丁目、矢川三丁目を含む）が約11百人、青柳一丁目が約4百人、泉二丁目が約2百人となっている。

国勢調査年次である平成17年から平成21年までの人口の推移を見ると、南部地域全体で1,475人増加しており、現谷保（約6百人）、泉二丁目（約4百人）が多くなっている。

また、四軒在家、青柳・石田、谷保第一の土地区画整理事業が実施された地区を含む、泉三丁目、矢川三丁目、青柳一丁目、泉四丁目では、約60から200人の増加が見られる。

●南部地域の人口の推移

	実数（人）								増減率（%）
	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	h21/h14
谷保	10,505	10,601	10,863	10,866	11,149	11,390	11,495	11,633	10.7
谷保	10,505	10,601	10,863	10,135	10,355	10,522	10,594	10,743	
泉3丁目	-	-	-	481	511	536	556	550	
矢川3丁目	-	-	-	250	283	332	345	340	
青柳	1,729	1,721	1,710	1,665	1,610	1,533	1,611	1,594	-7.8
青柳1丁目	1,356	1,556	1,550	1,569	1,582	1,756	1,787	1,769	30.5
青柳3丁目	514	530	535	526	520	514	545	562	9.3
石田	137	128	132	135	125	143	152	153	11.7
泉1丁目	104	104	99	93	93	117	129	136	30.8
泉2丁目	1,092	1,060	946	900	955	1,050	1,297	1,320	20.9
泉4丁目	127	121	135	128	129	189	190	190	49.6
南部地域合計	15,564	15,821	15,970	15,882	16,163	16,692	17,206	17,357	11.5
南部地域外合計	56,221	56,121	56,332	56,219	56,066	55,656	55,538	55,385	-1.5
国立市合計	71,785	71,942	72,302	72,101	72,229	72,348	72,744	72,742	1.3

●南部地域の世帯数の推移

	実数（世帯）								増減率（%）
	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	h21/h14
谷保	4,334	4,377	4,512	4,571	4,731	4,899	4,994	5,074	17.1
谷保	4,334	4,377	4,512	4,272	4,413	4,555	4,636	4,716	
泉3丁目	-	-	-	196	206	216	225	223	
矢川3丁目	-	-	-	103	112	128	133	135	
青柳	736	746	756	752	747	727	775	769	4.5
青柳1丁目	568	639	649	652	652	728	745	769	35.4
青柳3丁目	208	220	225	217	223	219	234	246	18.3
石田	78	75	73	72	72	80	87	81	3.8
泉1丁目	56	55	53	49	46	58	68	67	19.6
泉2丁目	395	397	355	341	363	404	514	534	35.2
泉4丁目	56	53	57	53	54	71	71	68	21.4
南部地域合計	6,431	6,562	6,680	6,707	6,888	7,186	7,488	7,608	18.3
南部地域外合計	25,856	26,069	26,197	26,223	26,355	26,440	26,599	26,621	3.0
国立市合計	32,287	32,631	32,877	32,930	33,243	33,626	34,087	34,229	6.0

出典：統計くになち

② 地片別の人口（2005年）

2005年国勢調査の調査区データから、地片別の人口と世帯を整理した。

なお、本計画の将来人口設定の基礎となる人口は国勢調査人口の1.011倍であるため、国勢調査人口に1.011を乗じて想定した。

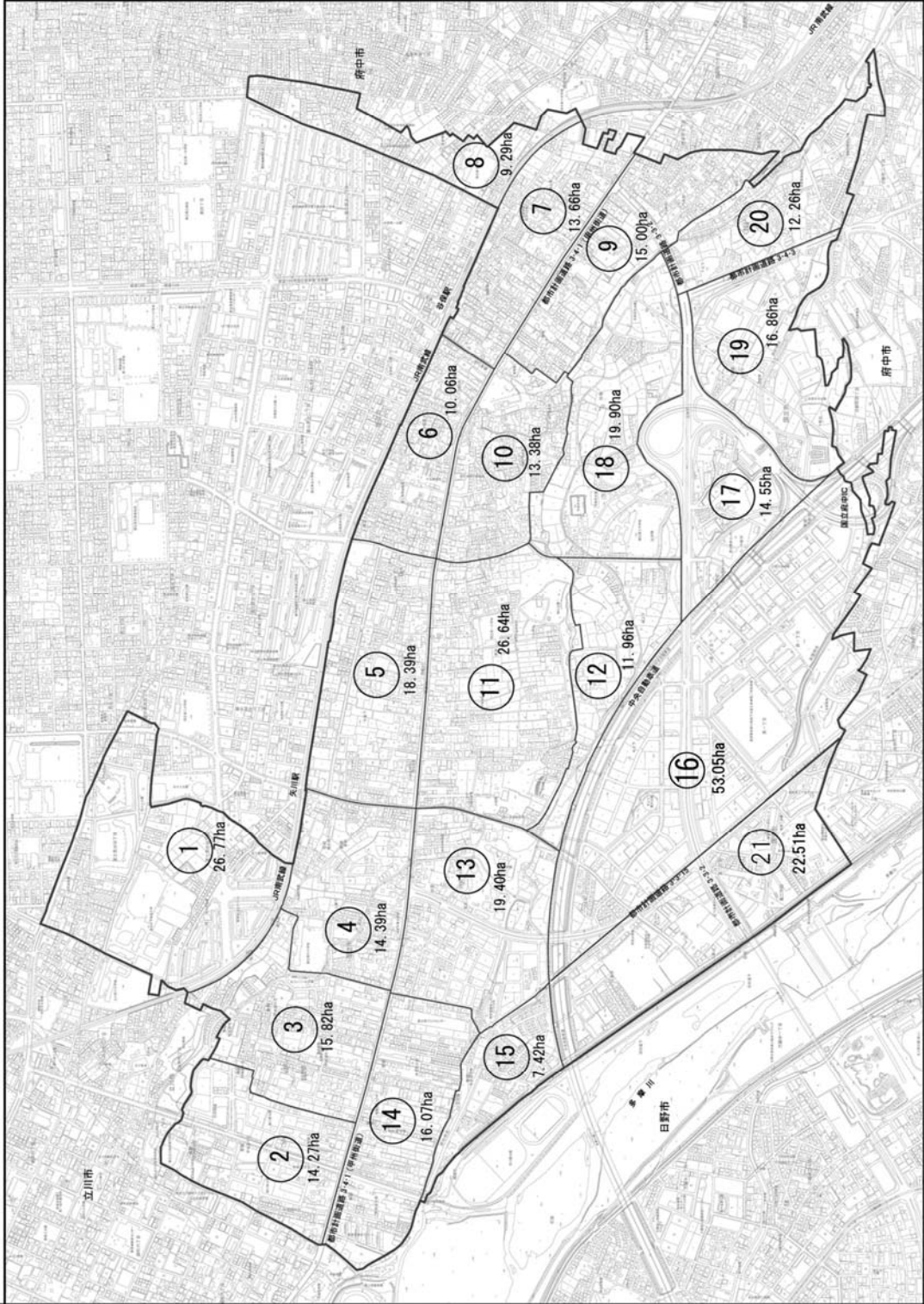
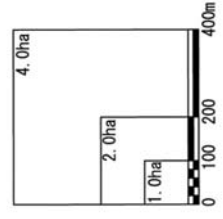
●地片別人口（2005年）

地片番号	地片別人口 (人)	国勢調査	
		人口(人)	世帯数(世帯)
1	2,228	2,204	1,066
2	1,004	993	355
3	1,515	1,499	651
4	809	800	327
5	1,315	1,301	514
6	791	782	306
7	1,262	1,248	539
8	573	567	231
9	1,109	1,097	430
10	918	908	339
11	1,134	1,122	467
12	202	200	79
13	660	653	238
14	1,597	1,580	730
15	750	742	297
16	224	222	102
17	144	142	42
18	450	445	138
19	439	434	124
20	538	532	213
21	1,501	1,485	568
南部地域合計	19,163	18,956	7,756

地片区分图



地片区分、地片番号



(2) 南部地域の住宅の受け皿

南部地域の人口増加地区となっている土地区画整理事業は、現在以下の7地区、48.8haで実施済及び今後予定となっており、今後2,991人の人口(3,775-764)を受け入れることが可能である。

なお、計画人口は各土地区画整理事業における事業計画上の計画人口であり、現況人口は平成21年3月時点の想定人口である。

●南部地域における土地区画整理区域の計画人口

地区名	面積 (ha)	計画人口 (人)	現況人口 (人)	2005年人口 (人)
谷保第一地区	12.1	730	100	50
谷保第二地区	2.6	165	118	94
寺之下地区	12.7	1,000	65	15
青柳・石田地区	7.4	590	345	122
四軒在家地区	6.1	550	121	102
城山南地区	6.4	570	15	15
下新田地区	1.5	150	0	0
合計	48.8	3,755	764	398

※2005年人口は、国勢調査人口に1.011を乗じて算出したもの

(3) 南部地域の地片別の将来人口の設定

国立市内の人口の推移と南部地域の基盤整備の進捗状況を勘案し、今後国立市で増加する人口の大半は南部地域で受け止めるものとする。

19頁の統計くにたちの南部地域の人口の推移によると南武線北側の人口は、2009(平成21)年には55,385人で2005(平成17)年には56,219人であるので、2009年は2005年の0.985倍となっている。

介護保険事業の施策展開の基礎としている将来人口によると2005年では73,479人であり、先の2005年の地片別人口すなわち南部地域の人口である19,163人を差し引いた数値が2009年の南部地域外の人口となり、数として54,316人となる。

この数に2005年から2009年の推移として0.985倍を乗じ、53,500人(54,316人×0.985=53,501人)を2009年の南部地域外人口とし、今後は維持していくものとして固定する。

以上から、将来(2020年)の南部地域の人口を以下のように設定する。

●2020年の南部地域の人口：約22,000人(74,700人-53,500人=21,200人)

① 地片別人口の想定

地片別人口の設定にあたっては、変更要素として以下を前提条件とする。

ア. 土地区画整理事業実施済地区については、2020年までに現在宅地として利用されていない面積の5割が市街化される。

また、事業予定の城山南地区と下新田地区は3割が市街化される。

イ. 2005年以降に人口が増加していると想定されている地区についての上乗せ。

土地区画整理事業実施済地区は2005年国勢調査人口と現況人口の差

都営アパート部は泉二丁目の増加分

谷保で増加している600人(谷保を構成する地片の人口総数に対する構成比で配分)

ウ. その他、受け入れが必要な人口は、市街化の圧力の強い駅周辺の地片 4～7 地片で受け止める。

なお、都市計画道路が整備される地片 4、7 では、5、6 の 2 倍の増加を見込む。

●地片別将来人口

地片番号	2005年人口 (人)	2005年以降増加している人口(人)			新たに増加する人口(人)		2020年人口 (人)
		区画整理地区 定着人口	住宅地への 転入人口	その他の 増加人口	区画整理地区 定着人口	その他	
1	2,228						2,228
2	1,004	223			123		1,350
3	1,515						1,515
4	809			48		40	897
5	1,315			78		20	1,413
6	791			47		20	858
7	1,262			75		40	1,377
8	573						573
9	1,109			66			1,175
10	918			54			972
11	1,134			67			1,201
12	202			12	167		381
13	660	19		39	215		933
14	1,597						1,597
15	750						750
16	224	100			783		1,107
17	144			9			153
18	450			27			477
19	439			26			465
20	538	24		32	69		663
21	1,501		420				1,921
南部地域合計	19,163	366	420	580	1,357	120	22,006

② 地区別将来人口の設定

●地区別の将来人口(2020年)

地区	現況人口(人)	将来人口(人)	地片
富士見台一丁目地区	570	570	8
富士見台四丁目地区	2,230	2,230	1
青柳崖線北側地区	12,820	13,280	2～7、9～11、13、14
青柳崖線南側地区	4,900	5,920	12、15～21
合計	20,520	22,000	

(2) 人口計画を踏まえた南部地域整備の方向性

地片別将来人口の表において、南部地域で2020年までに受け入れる必要のある人口は2020年人口から2005年人口と2005年以降増加している人口の差である約15百人である。

その新たに増加する人口の受け皿は土地区画整理事業地区内の定着を主としているが、土地区画整理事業における事業計画上の将来人口に対しては、まだ20百人分(3,755-366-1,357)の宅地が残ることとなる。

このような住宅地の需給状況を踏まえると、今後の南部地域整備の方向性は、南部地域の居住環境の改善や良好な環境の保全を基本として、南部地域や国立市の魅力や活力を高める都市機能誘導を目的とした基盤整備を実施することが望ましいと考えられる。

2. 土地利用計画

主な分類

(1) 商業・業務地

比較的規模の大きな商業や業務施設が立地する地区

(2) 住宅・商業複合地

中層の住宅地と地域に密着した商業や業務施設が立地する地区

(3) 沿道複合地

自動車交通の利便性を活かした商業や業務施設も立地する地区

(4) 住宅・工業共存地

住宅と業務、商業、軽工業が共存する地区

(5) 住宅・流通業務共存地

住宅と流通業務施設等が共存する地区

(6) 低中層住宅地

低層及び中層の住宅が共存する地区

(7) 中高層住宅地

中高層住宅地等が存在する地区

(8) 農地と調和した低層住宅地

低層住宅地の内で当面は農地と共存すると考えられる地区

(9) 低層住宅地

上記以外の地区

(10) 主な公共施設・その他

主な公共公益施設等が存在する地区

3-1. 地区別の土地利用計画

富士見台一丁目地区

(1) 沿道複合地

都市計画道路 3・3・2 号線、同 3・4・5 号線沿道を自動車交通の利便性を活かした商業や業務施設も立地する沿道複合地として位置づけ、適正な土地利用と魅力ある沿道景観の形成を図る。

(2) 低中層住宅地

都市計画道路 3・5・9 号線沿道を低層及び中層の住宅が共存する低中層住宅地として位置づけ、適正な土地利用を誘導する。

(3) 低層住宅地

その他の地区を低層住宅地として位置づけ、居住環境の改善を図る。

(4) 主な公共施設・その他

主な公共施設等は環境の維持と増進を図る。

富士見台四丁目地区

(1) 低中層住宅地

都市計画道路 3・4・4 号線、同 3・4・13 号線、同 3・3・15 号線の沿道と都営矢川北アパート北東の地区（富士見台四丁目 23、24 番地）を低層及び中層の住宅が共存する低中層住宅地として位置づけ、適正な土地利用を誘導する。

(2) 中高層住宅地

都営矢川北アパート及びグランソシエ国立を中高層住宅地として位置づけ、その環境の維持と保全を図る。

(3) 低層住宅地

その他の地区を低層住宅地として位置づけ、居住環境の改善を図る。

(4) 主な公共施設・その他

主な公共施設等は環境の維持と増進を図る。

青柳崖線北側地区

(1) 住宅・商業複合地

谷保駅及び矢川駅南口周辺を中層の住宅地と地域に密着した商業や業務施設が立地する住宅・商業複合地として位置づけ、駅前広場等の都市基盤の整備と南部の玄関口にふさわしい土地利用を誘導する。

(2) 沿道複合地

都市計画道路 3・3・2 号線（日野バイパス）、同 3・3・15 号線、3・4・1 号線（甲州街道）の沿道と谷保駅西側の南北方向の都道第 146 号線、矢川駅東側の南北方向の市道南第 15 号線の一部の沿道を自動車交通の利便性を活かした業務・商業施設も立地する沿道複合地として位置づけ、適正な土地利用と魅力ある沿道景観の形成を図る。

(3) 住宅・工業共存地

現在の用途地域が準工業地域である南北方向の市道南第 17 号線、同 20 号線から西側の地区を住宅と業務、商業、軽工業が共存する住宅・工業共存地として位置づけ、適正な土地利用誘導と環境の改善を図る。

(4) 低中層住宅地

都市計画道路 3・4・14 号線と矢川駅東側の南北方向の市道南第 15 号線の一部の沿道を低層及び中層の住宅が共存する低中層住宅地として位置づけ、適正な土地利用を誘導する。

(5) 農地と調和した低層住宅地

都市計画道路 3・3・2 号線（日野バイパス）から谷保天満宮までの地区と都市計画道路 3・4・14 号線から都市計画道路 3・3・15 号線までの地区を当面は農地と共存する地区として捉え、生産緑地等の農地と一体となった緑豊かな低層住宅地として位置づけ、良好な環境の保全と居住環境の改善を図る。

(6) 低層住宅地

その他の地区を低層住宅地として位置づけ、居住環境の改善を図る。

(7) 主な公共施設・その他

主な公共施設等は環境の維持と増進を図る。

青柳崖線南側地区

(1) 商業・業務地

清化園跡を比較的規模の大きな商業施設や業務施設が立地する商業・業務地として位置づけ、適正な土地利用を誘導する。

(2) 沿道複合地

都市計画道路 3・3・2 号線（日野バイパス）、同 3・4・3 号線の沿道を自動車交通の利便性を活かした業務・商業施設も立地する沿道複合地として位置づけ、適正な土地利用と魅力ある沿道景観の形成を図る。

(3) 住宅・工業共存地

現在の用途地域が準工業地域である都市計画道路 3・3・15 号線以南の地区を住宅と業務、商業、軽工業が共存する住宅・工業共存地として位置づけ、適正な土地利用誘導と環境の改善を図る。

(4) 住宅・流通業務共存地

現在の用途地域が準工業地域であるうち、都市計画道路 3・3・15 号線以南の準工業地域を除いた地区とヤクルト研究所を、住宅と流通業務施設が共存する住宅・流通業務共存地として位置づけ、適正な土地利用誘導と環境の改善を図る。

(5) 低中層住宅地

谷保第二土地区画整理地区の市道南第 44 号線沿道を低層及び中層の住宅が共存する低中層住宅地として位置づけ、適正な土地利用を誘導する。

(6) 中高層住宅地

都営泉二丁目アパートを中高層住宅地として位置づけ、その環境の維持と保全を図る。

(7) 農地と調和した低層住宅地

中央自動車道と都市計画道路 3・3・2 号線（日野バイパス）から北側の地区（ヤクルト研究所を除く）を当面は農地と共存する地区として捉え、生産緑地等の農地と一体となった緑豊かな低層住宅地として位置づけ、良好な環境の保全と居住環境の改善を図る。

(8) 低層住宅地

その他の地区を低層住宅地として位置づけ、居住環境の改善を図る。

(9) 主な公共施設・その他

主な公共施設等は環境の維持と増進を図る。

地区別の土地利用計画

土地利用計画	富士見台一丁目地区	富士見台四丁目地区	青柳崖線北側地区	青柳崖線南側地区
商業・業務地	—	—	—	清化園跡地
住宅・商業複合地	—	—	谷保駅南口周辺 矢川駅南口周辺	—
沿道複合地	都市計画道路沿道 3・3・2号線 3・4・5号線	—	都市計画道路沿道 3・3・2号線 3・3・15号線 3・4・1号線 都道第146号線沿道 市道南第15号線沿道	都市計画道路沿道 3・3・2号線 3・4・3号線
住宅・工業共存地	—	—	市道南第17、20号線 以西地区	都市計画道路3・3・15号線以南の地区
住宅・流通業務共存地	—	—	—	都市計画道路3・3・15号線以南の地区を除いた準工業地域とヤクルト研究所
中低層住宅地	都市計画道路沿線 3・5・9号線	都市計画道路沿道 3・4・4号線 3・4・13号線 3・3・15号線 富士見台四丁目23、24番地	都市計画道路沿道 3・4・14号線 市道南第15号線沿道	市道南第44号線沿道
中高層住宅地	—	都営矢川北アパート グランソシエ国立	—	都営泉二丁目アパート
農地と調和した低層住宅地	—	—	都市計画道路3・3・2号線から谷保天満宮までの地区 都市計画道路3・4・14号線から同3・3・15号線までの地区	ヤクルト研究所を除く中央自動車道と都市計画道路3・3・2号線から北側の地区
低層住宅地	それ以外の地区	それ以外の地区	それ以外の地区	それ以外の地区
主な公共施設・その他	国立第七小学校	東京女子体育大学	国立第一小学校 国立第六小学校 郷土文化館 職業能力開発センター	国立第三中学校 浄水場 北多摩二号水再生センター

